



卒業までのこり 114 日
 ~ 君たちはどう生きるか ~

今月号は、玉木が担当しております。玉木は夏休み、宮崎駿監督作品「君たちはどう生きるか」を見てきました。内容はネタバレしませんが、この映画のタイトルは、1937年に吉野源三郎により書かれた児童書で、2017年に漫画版が発売され、大ヒットしました。

主人公は、コペル君というあだ名の中学2年生。コペルとは、父を亡くしたコペル君の面倒をみているおじさんが、つけてくれたあだ名です。由来はコペルニクス、太陽が地球の周りをまわっている（天動説）のが常識だった時代に、地球が太陽の周りをまわっている（地動説）を唱えた人物です。コペル君は、おじさんと東京・銀座の街を見たとき、「人間って分子（物質を構成する最小単位）みたいだ。」「1人1人が世の中という大きな流れをつくっている一部なんだ」と話します。それに対しておじさんは、自分の世界を中心に考え、判断するのがこどもの特徴であり、大人になってもそれがなかなか抜けきらないのに（地動説を「自分の信じているものどちがうからそんなわけない!」といったように）、そんな広い視点に気づけたのはすごい、地動説を唱えたコペルニクスのような、ということで、コペル君と名付けます。

その後、コペル君は、クラスでのいじめやそれに立ち向かっていくクラスメイトの姿を見て、立派な人とは何かを考えたり、ミルク缶をみて、1つのミルク缶が手元にくるまでいろんな人手がかかっていることに気づいたり。友人が、先輩から目を付けられていて、殴られそうになったら、一緒にまもろうといていたのに、いざその場面になった時、行動できず、深く悩んでしまったり。様々なことに疑問をもち、悩み、考え、成長していく姿が描かれます。

コペル君が最後にもった気づきと疑問が下のものです。みなさんはどう考えるでしょうか。

コペル君「おじさんが僕を「コペル君」と呼ぶようになったのは、忘れないようにさせるためだったんだ。」
 「宇宙が地球を中心に回っていないように、世の中が自分を中心にして回っているわけじゃないってことを…」
 「じゃあこの世の中は、いったい何を中心に回っているの……？」

コペル君の結論は、裏面へ！

9月の予定

日	曜日	予 定	授業	給食	下校時間
1	金	始業式 教育実習開始	短 2	×	10:30
2	土				
3	日				
4	月	給食開始	基 6	○	15:50
5	火	校内学力診断テスト 心の相談室開室	基 5	○	14:50
6	水	登校指導	基 6	○	15:50
7	木	かいほう塾	基 6	○	15:50
8	金		基 6	○	15:50
9	土				
10	日				
11	月	朝会(任命式)	基 6	○	15:50
12	火	中央専門委員会 心の相談室開室	基 6	○	15:50
13	水		基 6	○	15:50
14	木	SC 来校 かいほう塾	基 6	○	15:50
15	金		基 6	○	15:50
16	土				
17	日				
18	月	敬老の日			
19	火	心の相談室開室 SSW 来校	基 6	○	15:50
20	水	職員会議 2年生職場体験①	短 5	○	14:25
21	木	2年生職場体験② かいほう塾	基 6	○	15:50
22	金	教育実習終了 2年生職場体験③	基 6	○	15:50
23	土	秋分の日			
24	日				
25	月		基 6	○	15:50
26	火	心の相談室開室	基 6	○	15:50
27	水	人権作文発表会	基 6	○	15:50
28	木	SC 来校 かいほう塾	基 6	○	15:50
29	金	授業参観 学年懇談会 「性と生の研修」	短 5	○	14:10
30	土				

※ SC はスクールカウンセラー、SSW はスクールソーシャルワーカーです。

コペル君の結論「世の中は、いったい何を中心に回っているの？」

「世の中を回している中心なんて、もしかしたらないのかもしれない」
「太陽みたいに大きな存在が、世の中を回しているのではなくて、
誰かのために っていう小さな意志が ひとつひとつ つながって
私たちの世界は 動いている 」

原作 吉野源三郎 漫画 羽賀翔一 「君たちはどう生きるか」 マガジンハウス 2017年

あなたの手元に何か商品が届くまでには、誰か物を作る人がいて、それを運んでくれる人がいて、それを売ってくれる人がいて、、、1人1人が少しずつ「誰かのために」動いていることで、商品が手に入る、といったように、この世界は、何か大きなものを中心としているわけではなく、知らぬ間に多くの人が「つながりあって」、少しずつ「誰かのため」の動きがつながりあって、世界は動いていることにコペル君は、気づくのです。(漫画なので、ぜひ読んでみてくださいね)

みなさんとは、これまで約500日、学校で過ごしてきました。皆さんが登校する日は残り卒業式も含め、114日です。定期テストや3時間授業の日も含まれますので、おもっている以上に、早く感じると思います。2学期には、中学校生活「最後」の体育大会、「最後」の文化祭(合唱コンクール)があります。そしてそんな中でも、多くの人が受験(検)、自分の進路と向き合っていくこととなります。全員で笑い合える、楽しい時間も、全員でじっと大変なことを乗り越えないといけない時期も、どちらもあることでしょう。ですがこの3年生の2学期から卒業までの期間は、あなたたちをものすごく成長させる時間に必ずなります。

この貴重な114日間、

～ 君たちはどう生きるか ～

そして卒業後、

～ 君たちはどう生きていくのか ～

みんなとなら、必ず充実した114日間になると信じています。どんなことがあったとしても、必ず充実した日々になります。自分と向き合い、ともに成長していける114日間にしていきましょう。私もみんなとともに、より成長していきたいと思います。

長い文章、読んでくれてありがとうございました。